

05 労使関係

スズキは、スズキ従業員を代表するスズキ労働組合と、「相互信頼」に基づく、良好な労使関係を築いています。

労働組合の目的は、従業員の雇用の安定と働く環境(労働条件)の維持改善にあります。この目的を達成するには、会社の安定的な発展が不可欠です。スズキとスズキ労働組合は、生産活動の成果配分としての給与・賞与・労働時間等に関する交渉では、会社と労働組合という立場の違いから、両者の意見が異なることはありますが、会社を安定的に発展させようとする基本的なベクトルを共有しています。

●従業員とのコミュニケーション

スズキは、労使間においても、研究開発・設計・製造・販売等、スズキにおける全ての業務に従業員の声反映されるように、話し合いの場(労使協議)を数多く設けています。

労使協議会では、労働組合の要求事項(給与・賞与・労働時間等)について話し合うのは勿論のこと、毎月定期的に、経営方針、生産計画・勤務時間、福利厚生、安全衛生等、様々な内容を議論し、お客様に喜んでいただける商品をお届けするために会社は何をなすべきか、従業員(労働組合)は何をなすべきかについて、真剣に意見交換を行っています。

●スズキグループの安定した労使関係構築のために

スズキには、国内外139社のグループ企業(製造会社・非製造会社・販売会社)があります。スズキは、139の企業がそれぞれの国・それぞれの地域で、そこに住む人々・社会・お客様から、信頼される企業であり続けたいと考えています。

スズキは、海外企業の労働組合役員と人事労務担当者をスズキに受け入れ、労使間の信頼関係とコミュニケーションの重要性、公平・公正・透明な人事制度の必要性等について研修をしています。また、スズキは、スズキ労働組合と共に、国内外のグループ企業とのグローバルな人材交流を進めることにより、139社約5万人の従業員が、創造性豊かに生き生きとして働く闊達な職場風土と安定した労使関係が構築できるよう、取り組んでいます。

06 特例子会社「スズキ・サポート」の事業展開

2005年2月に設立した特例子会社「スズキ・サポート」は、事業をスタートして5年目を迎えました。2009年8月末現在で、重度の知的障害者を含めた障害者数は59名となり、指導者と一体となってスズキ本社内事務所、従業員寮、関連施設の清掃業務、社内書類の集配業務に携わっています。

全員が毎日明るく元気に働く姿は、スズキの従業員からも共感と喜びを持って迎えられています。

また、07年8月には派遣先を広げられる「特定労働者事業」の認可を取得。雇用した障害者を地元農家に派遣し、そこでできた農作物をスズキが買い取り、スズキ本社の社員食堂で食材として使用するという新しい取り組みを08年3月から行っています。

これは「地産地消」という地域循環型ビジネスモデルとして注目されています。地元に貢献できる事業としてこの取り組みを今後も、拡大・発展させてゆきたいと考えています。

スズキでは、スズキ・サポート設立の理念である社会貢献の一環として、障害者の方々が働くことの出来る喜びや社会参加によって人間的成長を感じる事が出来るよう、今後も積極的に障害者雇用に取り組んでいきます。

【株式会社 スズキ・サポートの概要】

1.社名	株式会社スズキ・サポート
2.資本金	1千万円
3.出資者	スズキ株式会社
4.所在地	静岡県浜松市南区高塚町300
5.設立	2005年2月
6.事業内容	清掃業務等
7.代表者	代表取締役 彌吉 正文(スズキ(株)常務役員 管理本部副本部長)
8.従業員数	69名(うち障害者59名)